

# 介護職員初任者研修

## ① 介護職員初任者研修が創設された経緯

- 介護保険制度創設後、介護職員数は大幅に増大していますが、高齢化の進展より2025年には介護職員は現在の1.5倍(約237~249万人)必要とされています。

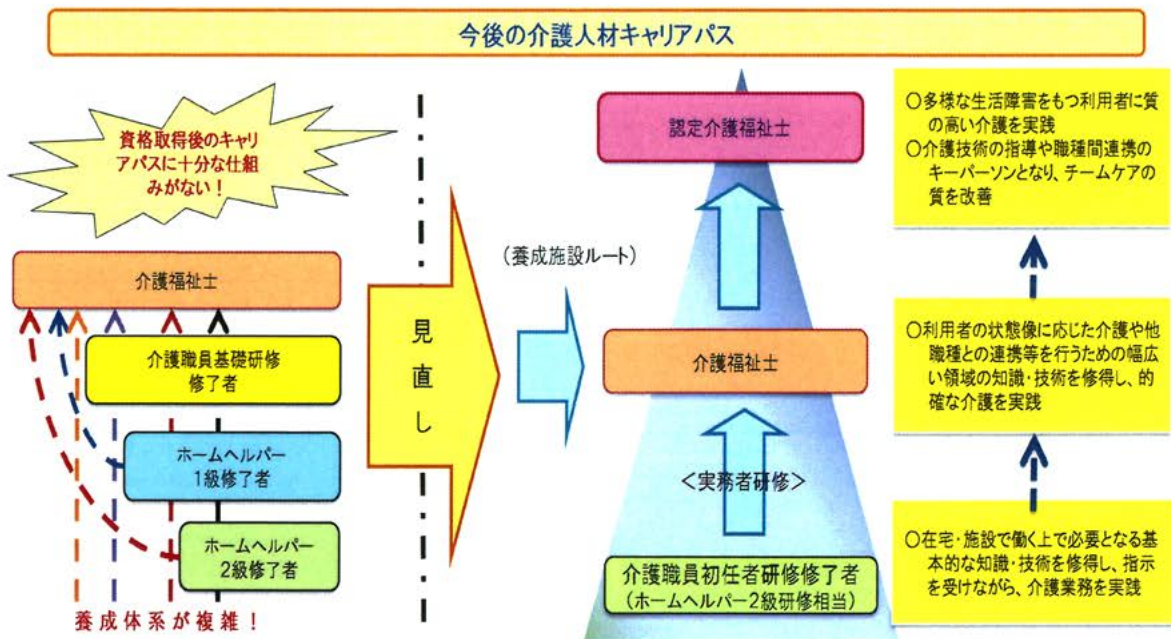
図 介護職員の推移と見直し

	平成12年度 (2000年度)	平成24年度 (2012年度) (推計値)	平成27年度 (2015年度) (推計値)	平成37年度 (2025年度) (推計値)
介護職員	55万人	149万人	167~176 (164~172万人)	237~249万人 (218~229万人)

【出典】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」、「医療・介護に係る長期推計」

- 一方従来の介護分野には、従来の訪問介護員（ホームヘルパー）養成研修や介護職員基礎研修、介護福祉士など、様々な研修・資格が存在していました。

より介護人材のキャリアパスをわかりやすくし、介護人材の定着をはかるため、介護職員初任者研修として研修を一本化しました。



## ② 介護職員初任者研修の目的

- 介護職員初任者研修は、今後訪問介護事業に従事しようとする者、若しくは在宅・施設を問わず最低限の知識・技術とそれらを適用する際の考え方のプロセスとして身につけ、職場の上司の指示を受けながら基本的な介護業務を実践できることを目的として行われるものです。

## ③ 介護職員初任者研修における経過措置

### ○研修の一部免除、経過措置

・ <u>ホームヘルパー1・2級、介護職員基礎研修修了者</u>	介護職員初任者研修の修了要件を満たしているものとして取り扱う
・ <u>介護職員として実務経験を有している者</u>	研修と同等の知識を有していると認められる者に関しては、研修課程の一部免除が出来る。
・ <u>看護師等の資格を有している者</u>	介護職員初任者研修修了の要件を満たしている
・ <u>実務者研修修了者</u>	都道府県の判断により、全科目を免除することができる

## ④ 介護職員初任者研修の科目

科目	時間数
職務の理解	6時間
介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
介護の基本	6時間
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
介護におけるコミュニケーション技術	6時間
老化の理解	6時間
認知症の理解	6時間
障害の理解	3時間
こころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
振り返り	4時間
合計	130時間

### 旧訪問介護員2級（ホームヘルパー2級）研修との違い

- 初任者研修は介護福祉士課程への連続性を考慮している
- 講義と演習を一体的に実施
- 「医療との連携」、「認知症の理解」に関する科目を新設
- 研修の学習効果を高めるために、修了評価を実施